



公益社団法人
鹿児島県理学療法士協会
ニュース No.107 (146)

2025. 10. 27

- 発行 公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会
- 発行人 平名章二
- 編集 丸山元大
- 事務局 〒890-0063 鹿児島市鴨池1丁目48-25
TEL 099 (203) 0860
FAX 099 (203) 0865
- 印刷 中礼印刷

総会員 2,512名 (9/29現在)

URL : <http://infokpta.com/>
e-mail : infokpta@po.minc.ne.jp



遠見番山 (日置市東市来町)

目次

部長・地区長・委員長あいさつ	2	研修報告 始良地区より	17
第39回鹿児島県理学療法士学会の案内	8	研修報告 大隅地区より	18
職能局 活動報告	9	研修報告 南薩地区より	19
写真コンテストの案内	10	私と私の職場	20
研修報告 専門部より	11	私のおすすめ	21
研修報告 学術部より	15	事務局だより・編集後記	22

部長・地区長・委員長あいさつ

総務部 部長



鹿児島県理学療法士協会
上村 明子

前期に引き続き総務部を担当いたします、上村と申します。

会員の異動手続き等含めた会員管理や、ホームページ管理などを担当しております。

また、日本理学療法士協会や他部門との連携、総会や理事会等の支援などスムーズな協会運営に貢献できるよう努めて参ります。引き続きよろしくお願いいたします。

経理部 部長



鹿児島医療技術専門学校
木下 恵美

前年度に引き続き経理部の部長を拝命いたしました鹿児島医療技術専門学校の木下と申します。

会員の皆様に安心してご活躍していただけますよう、スムーズな協会運営に貢献できるように努めて参りたいと思います。何卒よろしくお願いいたします。

広報部 部長



豊島病院
福留 史剛

広報部担当となりました福留と申します。

会員の皆様への情報発信や県民の皆様や行政・県内各種団体の方々への「理学療法(士)」の紹介など、イベントや電子媒体を通じて活動していきたいと思っております。

引き続き、鹿児島県理学療法士協会の公式LINEアカウントへのお友達登録もよろしくお願い致します。

広報部 部長



キラメキテラスヘルスケアホスピタル
丸山 元大

広報部長を拝命いたしました、キラメキテラスヘルスケアホスピタルの丸山と申します。

会員の皆様へ協会機関誌(ニュース等)を通して、「役立つ・繋がる・読みやすい」をモットーに有益な情報を発信できるよう努めていきたいと思っております。

協会ニュースに掲載したい記事やご要望がございましたら、お気軽にご連絡ください。

よろしくお願い致します。

Gmail : reha.maruyama@gmail.com

福利厚生部 部長



クオラリハビリテーション病院
牛嶋 誠也

今年度から福利厚生部部長に拝命していただきました牛嶋と申します。

協会に入ってから下さっている方、少しでも多くの方が入っていて良かったと思えるような取り組みや支援を出来るよう尽力していく所存でございます。よろしくお願い致します。行いたい企画等ありましたら気軽にご相談下さい。

学術研修部 部長



霧島杉安病院
福森 愛美

昨年に引き続きまして学術研修部長を拝命いたしました。協会員の皆様にとって有益な研修会を開催していけるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

本年度も一部研修会はオンデマンド配信を予定しております。JPTAアプリからお申し込みできますので、ぜひご参加ください。

学術誌部 部長



株式会社リニエR
リニエ訪問看護ステーション鹿児島
金谷 親好

学術誌部部長を拝命いたしました、金谷です。

「理学療法かごしま」では、編集部員と一緒に、会員の皆さまの臨床や学術活動に役立つ情報をお届けできるよう努めてまいります。また、卒後教育や臨床、研究を含めた総合的な力の向上にもつながるよう、引き続き取り組んでまいります。

今後も、皆さまからのご投稿を心よりお待ちしております。

学術支援部 部長



鹿児島大学医学部保健学科
川田 将之

学術支援部担当となりました川田将之と申します。研究助成、学会運営といった県協会員の皆さんの研究活動を推進できるような活動を行っていきたくと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

生涯学習部 部長

神村学園専修学校

吉野 慶子

今年度より生涯学習部部長を拝命しました吉野と申します。

生涯学習での前期研修、後期研修を主に担当させていただきます。

最短5年で取得することが可能

な登録理学療法士は、多様な障害像に対応できるジェネラリスト育成を目指しており、社会に対する理学療法士の質の担保の証となります。また、登録理学療法士は、認定理学療法士や専門理学療法士といった上位資格を目指すための基礎となる資格でもあります。会員の皆様が取得できるようサポートしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

専門領域研修部 部長

医療法人平和会 平和会クリニック

戸田 博之

専門領域研修部担当の戸田と申します。専門領域研修部では対面研修を通じて、臨床に直結する知識・技術を提供できるように研修を企画してまいります。

研修について、学んでみたいテーマ等ありましたらご相談ください。今年度もよろしくお願いたします。

専門領域研修部 部長

鹿児島大学病院

中尾 周平

専門領域研修部担当となりました中尾と申します。各領域のエキスパートを講師に迎え、最新の話題から臨床に役立つ知識や技術を伝達できる研修会を開催したいと考えております。よろしくお願致します。

専門領域研修部 部長

慈愛会いづろ今村病院

西 洋樹

今年度も専門領域研修部で部長を務めさせて頂くこととなりました。

各先生方のご助言を頂きながら、今後も多くの会員皆様にとって魅力的な研修会を企画し、一緒に学ぶことができると

思います。たくさんのご参加をお待ちしております。

職能研修部 部長

今村総合病院

川崎 和也

今年度も職能研修部長を担当させて頂くことになりました川崎和也と申します。

当部は鹿児島県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連絡協議会と連携し、地域リハビリテーション活動研修会の事業活動(リーダー研修開催)や理学療法士協会指定管理者研修(初級)を担当しております。

地域リハビリテーション事業に興味がある方は是非、研修に参加下さい。

局長、理事と協働して皆様のお役に立てるように精一杯取り組みたいと考えております。

どうぞよろしくお願いたします。

臨床教育支援部 部長

加治木温泉病院

増山 泰英

引き続き臨床教育支援部部長を務めさせていただきます、増山と申します。

教育局担当理事・生駒成亨先生のご協力のもと、実習指導者講習会の開催ならびにブラッシュアップ研修の企画・運営を通じて、県士会員の皆様にとって有益な情報の発信に努めてまいります。

今後ともどうぞよろしくお願申し上げます。

保険政策企画部 部長

アンダンテ伊集院

理学療法学専攻

宮 雅紀

前年度に引き続き、保険政策企画部部長を拝命いたしました宮雅紀です。診療報酬・介護報酬改定など、私たち理学療法士を取り

巻く環境は常に変化しています。会員の皆様の活動の一助となるよう、正確かつ迅速な情報提供に努め、本会事業の発展に尽力する所存です。皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願申し上げます。

スポーツ事業部 部長

鹿児島大学医学部保健学科

松田 史代

この度、スポーツ事業部部長を牛ノ濱先生とともに務めさせていただきます鹿児島大学医学部保健学科の松田史代です。一昨年前より新たに新設された部を、大渡

理事、轟原部長とともに運営させていただいておりましたが、今回、轟原部長のご勇退(引き続きご協力はいただけるはずです)に伴い、専門領域で一緒にさせていただいておりました牛ノ濱部長と再びタッグを組み、大渡理事のもと、スポーツ事業部として活動でき

ることとなりました。スポーツ事業では、現在はフィジカルチェック等がメインの活動になっておりますが、今後パラスポーツの分野も現在ご活躍の先生方とともに協力して、企画・運営できればと思います。外部団体との連携とともに、今後は実技研修会も含めた会員のスキルアップに繋がる研修会等も企画していければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

スポーツ事業部 部長



南洲整形外科病院
牛ノ濱 政喜

スポーツ事業部担当となりました牛ノ濱と申します。鹿児島大学の大渡先生、松田先生と共に協力して、先生方の足を引っ張らないように、前任の轟原先生からの『鹿児島のスポーツを元気にする』を引き継ぎまして、明るく楽しく取り組んでいきたいと思っております。以前のスポーツ委員会から、様々なスポーツ活動を通してたくさん素晴らしい方々に出会えました。スポーツ分野における私達理学療法士の活躍の場は広がってきておりますし、ニーズも高まっていると思っております。機会がありましたら、是非一緒に楽しく活動していきましょう。会員の皆様のご参加、ご協力をよろしくお願いいたします。

高齢者事業部 部長



霧島杉安病院
阿多 昌幸

今回、前任期に引き続き高齢者福祉部改め高齢者事業部部長に任命されました霧島杉安病院の阿多昌幸です。高齢者事業部の活動としては、県民に対して実技を含めた高齢者対応の情報提供と社会福祉協議会や外部依頼講習会を開催しています。今年度も部員一同それぞれの役割を務めていきます。よろしくお願いいたします。

小児・学校保健事業部 部長



菊野病院
小山 尚宏

今年度も引き続き部長を務めさせていただきます。当事業部は、県民の健康発達、健康増進のサポートを目的とし、小児および小児に関わる方々を主な対象として、年2回の発達サポート研修会（公開講座）の企画・開催を活動の柱としております。近年では、小児の体力・運動能力の低下や運動器疾患・障害を予防していく取り組みが求められており、学校保健分野における理学療法士の役割は大きいため、さらに活動の幅を広げていく必要があると考えております。

今年度より、馬場病院の小牧隼人先生にご協力をいただき、部長2名体制となります。部員一丸となって様々な活動を展開していくことで、子どもたちのより良い成長・発達に寄与できれば幸いです。

よろしくお願いいたします。

小児・学校保健事業部 部長



馬場病院
小牧 隼人

学校保健事業においては、小児領域やスポーツを含めた運動器領域のみならず、内部障害やメンタルヘルスなど様々な観点から取り組む必要性があります。会員の皆さまのこれまで培ってきた人生経験、臨床経験を新しい分野で発揮する大きな機会であると考えています。次の時代を担う、子どもの健康に寄与する理学療法士の新たな活動を創造しましょう。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

ヘルスケア事業部 部長



デイサービスHOMEBASE
小野 恵

引き続き、ヘルスケア事業部部長を務めさせていただくことになりました、小野恵です。昨期は、健康づくりキャンペーンの開催や、産業理学療法を中心とした調査活動に取り組んでまいりました。会員の皆さまのご協力により、実りある活動を展開することができました。この成果を今後の活動へとつなげてまいりたいと存じます。改めて感謝申し上げます。今期は、ウイメンズヘルスやメンタルヘルスの分野にも注力し、調査活動や研修会の実施、さらには専門職同士のネットワークづくりにも取り組んでいく予定です。会員の皆さまとともに考え、発展させていける事業を目指してまいります。微力ではございますが、会員の皆さま、そして県民の皆さまの健康づくりに少しでも貢献できるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

鹿児島地区 地区長



八反丸リハビリテーション病院
五十峯 淳一

鹿児島地区長を務めさせていただきます、八反丸リハビリテーション病院の五十峯淳一です。3人の地区長の先生方と協力して症例検討会、研修会の開催など鹿児島地区が円滑に活動できるよう支援していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

鹿児島北部地区 地区長

天陽会中央クリニック

上川 毅 康

鹿児島地区長を務めさせていただき、天陽会中央クリニックの上川です。

これまで症例検討会や講習会を通じて、会員の皆様とともに知識や技術を深め、交流を育んでまいりました。今後も、そのつながりを大切にしながら、より一層充実した学びと意見交換の場をつくれるよう努めてまいります。

引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

鹿児島中央地区 地区長

いまきいれ総合病院

谷 吉 航

この度、鹿児島中央地区地区長を拝命いたしました、谷吉と申します。

鹿児島地区主催の研修会・症例検討会等、企画運営に努めて参ります。

私自身まだまだ未熟な身ですので、地域局の先生方ならびに会員の皆様のご意見やお力添えを頂きながら尽力して参ります。若い会員の皆様も参加しやすいような協会活動ができるよう、縦・横の繋がりも意識しながら盛り上げていければと思っております。皆様の声を少しでも反映できるよう努めて参りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

鹿児島南部地区 地区長

鹿児島医療技術専門学校

川 元 大 輔

鹿児島南部地区の地区長を拝命しております、鹿児島医療技術専門学校の川元です。

昨年度に引き続き、今年度も同職を務めさせていただくこととなりました。微力ながら、研修会や症例報告会を通じて皆さまの学びや交流の一助となり、県士会の更なる発展に貢献できるよう努めてまいります。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

始良地区 地区長

霧島市立医師会医療センター

福 榮 竜 也

始良地区地区長の福榮竜也（霧島市立医師会医療センター）と申します。

本年度より二期目を務めさせていただくこととなりました。

昨年度は慣れない職務に戸惑うことも多々ございましたが、部員の皆様や諸先輩方のご支援、そして職場の皆様のご理解に支えられ、何とか一年間を務め上げることができました。心より感謝申し上げます。

始良地区では、今後も魅力ある学びの場を提供し、一人ひとりが個性を生かしながら、より広い視野で積極的に活動できる組織づくりを目指してまいります。

まだまだ未熟な点も多い若輩者ではございますが、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

北薩地区 地区長

整形外科松元病院

久木山 晃 洋

北薩地区長を拝命いたしました久木山と申します。初めての経験ですが、担当理事のご指導を仰ぎ、

北薩地区代表者委員会の皆様と協力しながら、地区活動の活性化に尽力してまいりたいと思っております。前理事・地区長が作り上げた“顔の見える北薩地区”の維持発展に貢献できるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

西薩地区 地区長

馬場病院

大久保 鉄 男

昨年度に引き続き、西薩地区長を拝命致しました、馬場病院の大久保です。

昨年度同様、西薩地区だけでなく協会員の皆様にとりまして有意義となる活動を企画、開催して参ります。本年度も宜しくお願い致します。

今年度、西薩地区はいちき串木野市で開催致します、第39回鹿児島県理学療法士学会の運営を担当することとなり、私が学会長を務めさせて頂くこととなりました。西薩地区リーダーの先生方を中心とした準備委員会を立ち上げ、準備を進めております。県学会に関する情報を今後、協会HP、ニュース等に掲載して参ります。皆様、ご確認頂き、多くの方にいちき串木野市にお越しいただき、第39回鹿児島県理学療法士学会へご参加下さいますようお願い致します。

南薩地区 地区長

菊野病院

川口 啓太

この度、南薩地区長を拝命いたしました川口啓太です。

これまで南九州市地区リーダーとして地域活動を続け、多くの先生方と出会い、研修会をきっかけに学びや相談、さらには交流へとつながる関係を築くことができました。人とのつながりが広がることで、地域に新たな力が生まれることを強く実感しています。

南薩地区においても、出会いと学びの場を大切に、会員の皆さまと共に成長していける地区運営を目指してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

大隅地区 地区長

恒心会おぐら病院

新保 千尋

今年度より、大隅地区長を務めさせていただくことになりました恒心会おぐら病院の新保千尋です。

大隅地区では研修会（年3回）、症例検討会を毎年開催しています。大隅地区では地理上の関係からオンラインでの開催が多くなると思いますが、多彩な分野から研修会を開催し、臨床や研究などに活かすことができるようにしたいと考えています。

地区長1年目のため、至らない点などあるかと思いますが、大隅地区理事、地区リーダーの方々との協力、運営を行っていききたいと考えています。今後ともよろしくお願いいたします。

種子島・屋久島地区 地区長

種子島医療センター

山口 純平

昨年度に引き続き、種子島・屋久島地区長を拝命しました種子島医療センターの山口です。

昨年度から種子島・屋久島地区での活動を行っていましたが、今年度は種子島・屋久島地区をより盛り上げていきたいと考えております。まだまだ地区長として、出来ない点も多いですが、担当理事の先生方にご協力をいただきながら、種子島・屋久島地区の発展に貢献できるように努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

奄美地区 地区長

奄美中央病院

正野 夢大

このたび、奄美地区長を務めることとなりました正野夢大（まさのゆめひろ）と申します。

奄美には、地域に根ざして熱心に活動されている理学療法士が多く、私自身とても心強く感じています。知識や技術の研鑽に加え、「つながることで生まれる力」にも注目しながら、奄美大島本島だけでなく、離島を含めた活動も進められたらと思います。

また、近年は会員減少や協会活動への参加率低下が課題となっておりますが、だからこそ「参加してみたい」「関わってよかった」と思ってもらえるような魅力ある活動を展開していきたいと考えています。会員の皆さまが自然と集まりたいくなるような場を一緒に育てていければ幸いです。

まだまだ学ぶことばかりですが、現場目線を大切にしつつ、地区活動を盛り上げていきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

選挙管理委員会 委員長

霧島桜ヶ丘病院

前田 哲

今期も選挙管理委員会委員長を務めさせていただきます。

公正公平な立場で、管理・運営できるように努めてまいります。

会員皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

規約審議委員会 委員長

ザ王病院

弥栄 博文

規約審議委員会委員長を拝命いたしましたザ王病院の弥栄です。

組織図の変更がなされ、新しい組織体制でのスタートとなりました。会員皆様への円滑な組織運営ができますように取り組んで参りたいと思います。

引き続き、よろしくお願いいたします。

組織運営等検討委員会 委員長

厚生相談所

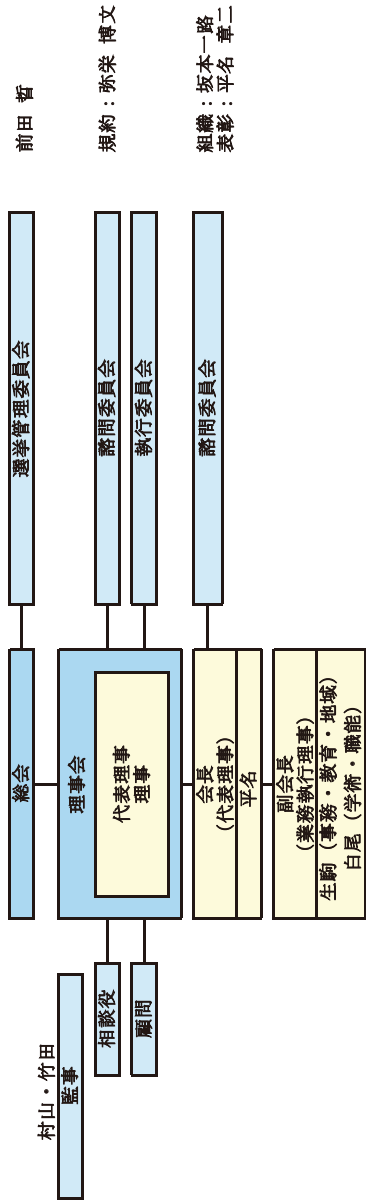
坂本 一路

前回から引き続き組織運営等検討委員会の運営をいたします坂本です。

組織運営等検討委員会では、理事会からの依頼を受け士会の運営等に関して協議し答申として理事会へ提出しています。これまで士会費の適切な価格設定のための答申を行い、今後の会員の処遇の方向性を他の県士会の状況も含め検討しています。

今後もより良い士会の運営ができるように協力していきたいと考えますので、よろしくお願いいたします。

公益社団法人 鹿児島県理学療法士協会 組織人事



< 特任課題担当 >
 ・災害リハ (IRAT) : 久米
 ・管理者ネットワーク推進: 岩森
 ・新たな学術研修企画: 生駒・白尾
 ・POS協議会連携 : 真條・岩森
 ・WLB: 東條・白尾

事務局	学術局	教育局	職能局	地域局
局長 (業務執行理事) 東條 湯地	局長 (業務執行理事) 白尾	局長 (業務執行理事) 生駒	局長 (業務執行理事) 生駒 (保険・高齢者・ヘルスケア) 白尾 (スポーツ・小児)	局長 (業務執行理事) 東・岩森
担当理事	担当理事	担当理事	担当理事	担当理事
東條・湯地 湯地・東條 湯地・東條	白尾・木山 木山・白尾 木山・白尾	横山・神田 神田・横山 岩森	福永・榎畑 大渡・永濱 榎畑・福永	川上・久米・東 川上・久米・東 川上・久米・東
総務部 経理部 広報部 福利厚生部	学術研修部 学術誌部 学術支援部	生涯学習部 専門領域研修部 職能研修部 臨床教育支援部	スポーツ事業部 小児・学校保健事業部 ヘルスケア事業部	鹿児島北部地区 鹿児島中央地区 鹿児島南部地区
上村 木下 福留・丸山 牛嶋	川田 金谷 福森	吉野 戸田・中尾・西 川崎	宮 松田・牛ノ濱 阿多	五十峯・上川 五十峯・谷吉 五十峯・川元
				大久保 川口 新保 山口 正野

第39回鹿児島県理学療法士学会のご案内



妙円寺参り



浜競馬



いちき祇園祭

写真提供：いちき串木野市

2026.2.15

9:30-16:30



in いちきアクアホール

講演講師



木藤伸宏先生
広島国際大学

総合リハビリテーション学部
リハビリテーション学科 教授



牧迫飛雄馬先生
鹿児島大学

医学部 保健学科
理学療法学専攻 教授

お問い合わせ

第39回 学会準備委員会

メール：39thseisatu@gmail.com



主催：鹿児島県理学療法士協会

後援：いちき串木野市

職能局活動報告

「7月17日は理学療法の日」健康づくりキャンペーン実施報告

職能局長 白尾麻美

職能局担当理事 福永裕樹

2025年7月6日(日)、イオンモール鹿児島におきまして「7月17日は理学療法の日」健康づくりキャンペーンを開催しました。

昨年度はヘルスケア事業部が中心に運営をしておりましたが、今年度は新たな試みとして、職能局(ヘルスケア事業部、小児学校保健部、高齢者事業部、スポーツ事業部)と事務局広報部の5つの部局が、理学療法リーフレット配布、理学療法相談など、各ブースの運営を行いました。

例年、酷暑の中での事業となり、参加スタッフは、理事、各部員をはじめ、協会から公募でお集まり頂いたスタッフのご協力を頂き、計21名での運営となりました。

参加者に関しまして、お休みの日曜日ということもあり、子ども連れのご家族も多く、初めて開催した子どもロコモ評価では、56名の評価を行い、その他のヘルスケアアンケート調査(213件)、握力測定(50名)など幅広い年齢の方を対象に、評価と情報提供を行うことができました。

今後も職能活動を通じて、理学療法がより県民への認知向上と福祉の発展に寄与できるようにしたい。会員の皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



写真コンテスト作品募集

鹿児島県理学療法士協会 2025年度写真コンテスト開催!

鹿児島県理学療法士協会福利厚生部主催の2025年度写真コンテストを開催いたします。会員の皆様から多数のご応募をお待ちしております。

応募期間 : 令和7年10月1日～令和8年1月31日

応募資格 : 鹿児島県理学療法士協会会員

賞について : 最優秀賞(1点) 優秀賞(2点) 佳作(3点)

最優秀賞 : QUOカード1万円分 ※優秀賞・佳作も副賞あり。

受賞者発表 : 令和8年2月下旬に直接受賞者に連絡いたします。また士会HP及びニュースにて発表いたします。

応募方法 : 鹿児島県理学療法士協会ホームページのお知らせ

2025年度写真コンテスト応募要項をご確認ください。

カメラ、携帯電話どちらの写真でも応募は可能です。

※画像は横向きでお願いします。

お気軽にご応募ください!

担当 : 鹿児島県理学療法士協会 福利厚生部

クオラリハビリテーション病院あいら リハビリテーション部 牛嶋 誠也

TEL : 0995-65-7575

Email: fukurikousei.k@gmail.com



研修会報告（専門領域生活環境支援系研修会）

専門領域研修部担当理事 神田 勝利

部長 戸田 博之

生活環境支援系担当 五十峯 かずみ

○令和7年度 専門領域研修部 研修会

テーマ：義肢装具のこと、なんとなくから“わかる！”へ ～臨床で活かすための基礎を学ぼう～

講師：米山 拓 先生

会場：加治木温泉病院

日時：2025年7月13日 9:00 ～ 12:10

参加者：30名

今回、『義肢装具のこと、なんとなくから“わかる！”へ ～臨床で活かすための基礎を学ぼう～』というテーマで研修会を開催いたしました。講師の米山先生より、義肢・装具について基本的な知識から作成するまでの流れや制度面についての講義を詳しくいただきました。装具を検討する上で重要なことは「どの装具が適応であるか」ではなく「適応のある装具を使用し、どのような運動療法をデザインするか」であるとのこと。また、装具はあくまでツールの一つであり、装具療法は独立した治療手段ではない、装具をうまく運動課題に取り込み、運動学習を進め機能回復に導くことが療法士の技術であるとの話があり、理学療法士として装具療法へどのように関わっていくべきかを学ぶことができました。会場には、いろいろな種類の装具（下肢装具・上肢装具・体幹装具）・義足（体験用義足、断端モデル）・靴・書籍・カタログ・装具マニュアルなどを準備していただき、研修会後半では実際に継ぎ手の調整や装具・義足装着体験、断端モデルに弾性包帯を巻くなど、貴重な体験ができたのではないのでしょうか。参加者からの感想として、義肢装具士からの視点や関わりを知ることができた、実際に装具に触れることができ特徴や調整方法を知ることができたなどの意見や、装具難民・装具歩行・歩行再建への考え方は養成校では習わない内容でとても良かったなどの意見がありました。今回の講義を通して学んだことを普段の臨床の場で実践してもらえると幸いです。

今後もより多くの会員の方々と一緒に学ぶ機会を設けていきたいと思っておりますので、会員の皆様引き続きよろしく願いいたします。



研修会報告（専門領域運動系研修会）

専門領域研修部担当理事 神 田 勝 利
理事 横 山 尚 宏
部長 西 洋 樹
運動系担当 重 信 邦 弥

○令和7年度 専門領域研修部 運動器系研修会

テーマ：肩インピンジメント症候群に対する徒手療法と運動療法

講師：白尾泰宏先生

会場：今村総合病院スポーツ整形外科リハビリセンター

日時：令和7年9月7日（日）9:00～12:10

参加者：26名

毎回好評を頂いている白尾先生の実技研修を開催致しました。

本研修では、肩インピンジメント症候群に対する評価と治療について、解剖学的知見に基づいた徒手療法および運動療法の実践的アプローチが紹介されました。特に、障害・疼痛の要因を推察し、適切な治療法の選択から効果判定に至るまでの一連の臨床の流れを再構築する内容となっており、日々の臨床現場で直結する知識と技術が提供されました。また、臨床で陥りやすいマスカレードについても具体例を交えて解説がなされ、症状の見極めや鑑別の重要性について再認識する機会となりました。今回の研修内容は基礎的な触診技術から治療に至るまで、即座に臨床へ応用できる実践的なものでした。参加された26名の先生方も終始熱心に取り組み、解剖学的根拠に基づいた評価と治療の重要性、そして柔軟な視点を持って症状を捉える姿勢の大切さを学ぶ有意義な研修会となりました。

30名の定員枠に対し沢山の応募がありましたが、残念ながら受講が叶わなかった先生方も多くおられるかと思えます。12月に再度、白尾先生に講師をご依頼する予定となっております。HP等案内を致しますので、ご確認頂き奮ってご参加ください。



研修会報告（専門領域呼吸器系研修会）

専門領域研修部担当理事 神 田 勝 利
部長 西 洋 樹
呼吸器系担当 坂 元 将 也

○令和7年度 専門領域研修部 呼吸器系研修会

令和7年9月7日（日）に、かごしま高岡病院の杉木優一郎先生に「COPDとILDの呼吸理学療法」、国分生協病院の吉野徹先生に「排痰法」というテーマで、鹿児島医療福祉専門学校にて行いました。前半の「COPDとILDの呼吸理学療法」では、臨床でよく担当することが多いCOPDとILD（間質性肺疾患）の症例を通してグループワークを主体とした講義を行っていただきました。後半の「排痰法」では呼吸介助（排痰）を行う際の注意点と背臥位・側臥位・座位での呼吸介助の実技を行っていただきました。5～6名の少数グループに1名のアシスタントが付いてのグループワークや実技を行いました。受講者も積極的に質問できる環境で、限られた時間ではありましたが臨床に活かせる研修となりました。今年度、第2回呼吸器系研修会を12月14日に予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。



研修会報告（専門領域神経系研修会）

専門領域研修部担当理事 神 田 勝 利
部長 戸 田 博 之
神経系担当 上 橋 秀 崇

○令和7年度 専門領域研修部 神経系研修会

テーマ：脳卒中評価の基礎 ～一般性と個別性～
講師：前 田 敏 也 先生（豊島病院）
会 場：鹿児島医療福祉専門学校
日 時：令和7年9月28日 9:00 ～ 12:10
参加者：17名

今回、「脳卒中評価の基礎 ～一般性と個別性～」というテーマで研修会を開催いたしました。講師の前田先生から、脳卒中における一般的評価や予後予測、評価の個別性についてご講義していただきました。様々な論文や文献をわかりやすく臨床考察に繋げられる内容や、触診における実技から電気刺激によるデモンストレーション等、非常に面白い内容の濃い時間となりました。今回の研修を通して学んだ知識を普段の臨床の場で生かしていただければ幸いです。

今後もより多くの会員の方々と一緒に学ぶ機会を設けていきたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。



研修会報告（学術研修部×スポーツ事業部）

スポーツ事業部担当理事 大 渡 昭 彦
 部長 松 田 史 代
 部長 牛ノ濱 政 喜
 学術研修部担当理事 白 尾 麻 美
 部長 福 森 愛 美

○令和7年度 学術研修部×スポーツ事業部 共同企画研修会

テーマ：パラスポーツにおける理学療法とトレーニングの展開（実技含む）

講師：門 田 正 久 先生

会 場：鹿児島医療福祉専門学校 南星ホール

日 時：2025年8月31日 10:00 ～ 13:00

参加者：35名（理学療法士協会会員 21名、養成校学生14名）

この度、学術研修部とスポーツ事業部の共同企画で、日本のパラリンピック等での理学療法士の活動の礎を築かれ、第一線で活躍中の門田正久先生（飛翔会グループ株式会社ケアウイング代表取締役）をお招きし、上記の研修会を開催いたしました。

日本パラリンピック委員会や日本パラスポーツ協会の中での理学療法士の活躍の場をどのように構築されてきたかのお話から、日々の臨床に即した臨床推論の考え方、スクリーニング（評価）、治療法の展開など、とても幅広い分野でマルチな講義をしていただきました。休憩なしの3時間超の研修会でしたが、話に惹きつけられあっという間の時間でした（むしろ時間が足りない！と思ったくらいの充実した内容でした）。

後半は実技を中心に展開され、フィジカルアセスメントの見方、考え方からの制約・制限となっている因子をどのようにスクリーニングしていくかの考え方、スクリーニングの仕方を学び、では実際にどのようなことを行えば理学療法テクニックとして実施できるのか、神経生理学、人間発達学、解剖学、運動学などの誰もが習ったことのある知識からの導き方を、親切丁寧にご教示いただきました。

理学療法の面白さを改めて実感するような研修会になりました。日本全国（時には海外も）飛び回っている大変ご多忙な門田先生に鹿児島までお越しいただき、このような研修会を開催できたことを嬉しく思います。

このような企画を学術研修部とスポーツ事業部で今後も企画していきたいと思っております。積極的な皆さまのご参加をお待ちしております。



研修会報告（第3回学術研修部研修会）

学術研修部担当理事 白 尾 麻 美
部長 福 森 愛 美
担当 野 方 敏 行

○令和7年度 第3回学術研修部研修会

テーマ：呼吸器疾患の理学療法

講師：神 津 玲 先生

（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 医療科学専攻 理学療法学分野 教授）

会 場：鹿児島大学医学部保健学科共通教育棟 インテリジェント講義室

日 時：2025年9月21日（日） 10:00 ～ 13:00

参加者：39名

令和7年度第3回学術研修部研修会を上記の通り開催しました。ご参加をいただいた先生方、ありがとうございました。

今回の研修会では、長崎大学大学院 教授 神津玲先生にご講演いただきました。慢性呼吸不全における呼吸理学療法について、呼吸不全の機能障害の基礎から動画を交えたコンディショニングや運動療法・ADLトレーニングの実際がわかりやすいものでした。また、呼吸リハビリテーションにおける現状の課題もふれ、参加者からも臨床における悩みなど活発な質問・相談があり、大変有意義な研修会となりました。



研修会報告 (始良地区より)

始良地区担当理事 鈴木 東 伸 洋
始良地区長 福 榮 竜 也

○令和7年度 第1回 始良地区 研修会

テーマ：『症例検討会の方法論』

講師：東海林 麻理子 先生 (鹿児島第一医療リハビリ専門学校)

会場：Web開催 (ZOOM)

日時：令和7年7月25日 (金) 19:00~20:30

参加者：70名

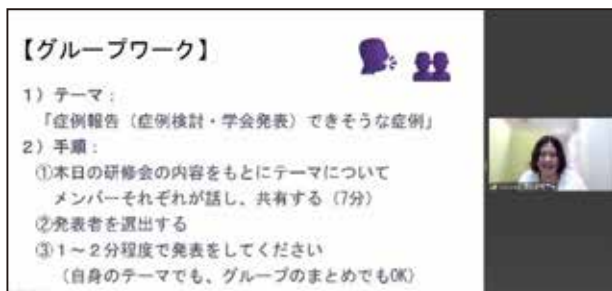
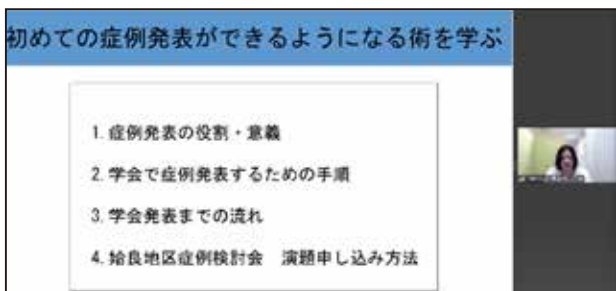
カリキュラムコード：区分13 158臨床実習と教育

2025年7月25日、始良地区第1回研修会をオンラインにて開催いたしました。今回は始良地区に限らず、地区外からの参加も含めて52名の会員が参加し、活発な学びの場となりました。

先生からは、臨床現場における症例検討会をより効果的に行うための進め方や、検討の視点、実践に役立つフレームワークなどについて、丁寧かつ実践的なご講義をいただきました。

講義中にはグループワークを実施し、参加者同士で意見交換を行いました。そこでは、「どのような視点で検討を進めていくべきか」だけでなく、「後輩や若手スタッフに対して、どのように症例検討をサポートし、学びを深めてもらうか」といった指導的な関わりについても話し合いが行われました。教育的視点を取り入れた検討は、現場でのチーム力や人材育成にもつながる重要な要素として、参加者からも高い関心が寄せられました。

今後も始良地区では、臨床実践と教育の両面を支えるような研修会を企画してまいります。ご参加いただいた皆さま、そしてご講義くださった東海林先生に心より感謝申し上げます。



研修会報告（大隅地区より）

大隅地区担当理事 永 濱 良 太

大隅地区長 新 保 千 尋

○令和7年度 第1回大隅地区 研修会

テーマ：代謝疾患に対する運動療法up to date ～糖尿病治療の現在地～

講師：宇 都 良 大 先生

会 場：Web開催（zoom）

日 時：令和7年7月24日

参加者：46名

大隅地区第1回研修会を7月24日にオンラインで開催いたしました。

今回は、きくち内科・糖尿病クリニック 代謝認定理学療法士 宇都 良大先生に「代謝疾患に対する運動療法up to date ～糖尿病治療の現在地～」の演題で御講演いただきました。聴講者は大隅地区・地区外からも含め、46名の会員の皆様にご参加いただきました。

講演では、糖尿病などをはじめとする代謝疾患に対する運動療法の効果、エビデンスをガイドラインや臨床での経験などの紹介をしていただきました。運動療法については運動療法の原則・処方、注意点に加え、実施前後における理学療法士の役割となるメディカルチェックの重要性などもご紹介いただきました。また、近年認可された糖尿病治療における治療薬であるマンジェロ（一般名：チルゼパチド）についての作用機序や特徴、理学療法士が知っておくべきポイント、スマートフォンでリアルタイムにグルコース値を確認することのできるセンサー、アプリなど最新の情報をご教授いただきました。

2022年より糖尿病性足病変が運動器リハビリテーションの算定疾患に追加され、糖尿病患者に対する運動療法を行うことのできる機会が増えたと感じています。宇都先生がご紹介していただいた運動療法に加え、今後の最新の治療に対し情報を得ながら、理学療法が実施できるようにしていきたいと感じました。

はじめに

運動療法は代謝疾患の基本的かつ重要な治療


対象となる代謝疾患

- 糖尿病
- 脂質異常症
- 肥満症
- メタボ
- 高尿酸血症



運動処方の基本：FITT原則

- 【FITT原則】運動処方の基本的な枠組み
 - F：頻度＝週に何回行うか
 - I：強度＝どの程度の負荷か
 - T：時間＝1回何分か
 - T：種類＝有酸素かレジスタンスか等
- 個々の疾患・年齢・体力・合併症に応じた調整
- 継続可能で安全な処方設計がカギ。
- 理学療法士は指導・観察・モニタリングの役割を担う。



研修会報告（南薩地区より）

南薩地区担当理事 岩 森 俊

南薩地区長 川 口 啓 太

○令和7年度 第1回南薩地区 研修会

テーマ：「シーティングの基礎知識」

講師：下川 より子 先生（医療法人浜友会 きいれ浜田クリニック）

会場：菊野病院 通所リハビリテーションひかり

日時：令和7年9月28日 10:00 ～ 11:30

参加者：12名

令和7年度第1回南薩地区研修会を、菊野病院通所リハビリテーションひかりにて対面で開催いたしました。

今回は、きいれ浜田クリニックの下川 より子先生を講師にお迎えし、「シーティングの基礎知識」というテーマで90分間にわたりご講演いただきました。

ご講演では、「何のために座るのか」という基本的な問いから始まり、目的に応じた座り方のポイントや車いすの選択方法について解説いただきました。また、車いす上で姿勢が崩れる要因を「疼痛・車いすの不適合・疲れ・移乗方法・おむつ」の5つに整理して説明していただき、姿勢の修正方法についてもご紹介いただきました。さらに、スライディングシートやグローブなどを用いた介助方法、背張り式の車いすの調整方法については、実技を交えながらご指導いただきました。

移乗方法やポジショニングは日常の臨床で多く経験する一方で、工具を用いた車いすの調整やシート類を活用した座り直しなどは、意識する機会が少ない分、すぐに実践につながる新たな学びが多かったと思います。

また、研修会終了後に症例検討会も開催し活発な意見交換ができました。下川先生にも参加していただき貴重なご助言をいただきました。大変有意義な研修会となりましたこと、下川先生に心より感謝申し上げます。



私と私の職場

鹿児島中央整形外科スポーツクリニック

福永政和

まだまだ暑さの厳しい日が続いておりますが、少しずつ秋の気配も感じられるようになってまいりました。鹿児島県理学療法士協会の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今回は、私が勤務しております「鹿児島中央整形外科スポーツクリニック」についてご紹介させていただきます。

当クリニックは鹿児島市中央町に位置し、整形外科・スポーツ整形外科・リハビリテーション科を専門としています。地域の皆様からスポーツをされる方まで、年齢や活動レベルを問わず幅広い整形外科疾患に対応し、安心して受診いただける体制を整えております。当クリニックには12名の理学療法士が在籍し、肩・肘の専門医と膝・足の専門医を含む常勤整形外科医2名と密に連携しながら、問診や身体評価に加え、MRIやエコーといった画像診断を積極的に活用することで、機能障害の原因を明確にしています。そのうえで、運動療法を中心に、最新の物理療法機器や徒手的アプローチを組み合わせ、痛みの軽減、可動域の改善、さらには再発予防までを考慮した個別プログラムを提供しています。

また、自費診療にも対応しており、PRP療法・体外衝撃波・ハイドロリリースなどを実施しています。これらはスポーツ外傷や慢性疼痛に対し、再生や修復を促す新しい治療法として注目されており、リハビリテーションと組み合わせることで、再発防止や競技パフォーマンスの向上にもつながっています。当院の大きな特徴のひとつが、スポーツ障害への専門的な取り組みです。特に野球肘・野球肩・投球障害といった若年層やアスリートに特有の障害に力を入れており、診療からリハビリテーションまで一貫した対応を行っています。さらに、投球障害予防のためのメディカルチェックを実施し、フォーム確認や肩・肘への負担軽減を図ることで、障害の未然防止と競技力の向上をサポートしています。

また、手術が必要となるケースでは提携病院と協力し、術前・術後を通じた段階的リハビリを提供、生活動作の改善から競技復帰まで、患者様が安心して治療に専念できるよう切れ目のないサポート体制を整えています。私は理学療法士として12年目を迎え、これまで総合病院で9年間勤務した後、当クリニックに加わって3年目となります。この職場の魅力は「専門性」と「患者に寄り添う姿勢」が両立している点にあります。痛みの原因を曖昧にせず、一人ひとりの生活背景や運動様式を踏まえてリハビリを設計することで、改善を実感いただける支援を実現しています。さらに、年間研修費や学会参加費補助、外部病院での研修機会など、理学療法士として成長できる環境が整っていることも大きな特徴です。

今後も「一人でも多くの人に笑顔と幸福を届ける」という理念のもと、地域に根ざしたクリニックとして、最新かつ最良のリハビリテーションを提供できるよう、スタッフ一同努めてまいります。

当クリニックの詳細につきましては、下記のQRコードよりホームページをご覧ください。



私のおすすめ

加治木温泉病院

本村 楓

今回、私がおすすめる本は荒木茂先生の「マッスルインバランス改善のための機能的運動療法ガイドブック」という本です。この本では、局所的・多動的なアプローチだけでなく、機能障害に対する運動のシステムを改善するような運動療法を取り入れていく大切さというものが学ぶことができました。

内容は ①機能的運動療法とは、②マッスルインバランスの評価、③機能的運動療法の実際の3つに分かれています。

機能的運動療法については、運動療法が運動連鎖を考慮した運動パターン修正化など、脳のコントロールを改善することが重要なため、筋トレから脳トレに変えるという考え方の大切であることや、マッスルインバランスが悪循環になる原因や筋や関節に求められる機能や特徴を知ることができます。マッスルインバランスの評価では、ボディチャートを用いた問診や姿勢評価表を用いた姿勢観察、運動パターンテスト、筋の長さテスト、触診の5つに分けて評価方法を記載しています。評価をする際に注意すべきポイントだけでなく、それぞれ個別の評価表がわかりやすくまとめているため、実際の臨床場面でも非常に役立つのではないかと思います。機能的運動療法の実際では、関節可動域エクササイズ、安定化エクササイズ、弱化筋の活性化エクササイズ、運動パターンの修正エクササイズ、動作パターン修正エクササイズ、自己管理法の6つに分けて運動療法の手順を学ぶことができます。運動療法の説明ではポイントは簡潔に説明されている上に、運動内容の写真が豊富なため、臨床経験が少ないセラピストでも見やすい内容になっています。

私自身、この本を読んでから4年ほど経ちますが、今でも日々の臨床場面の中で評価や運動療法を実施していく上の参考にしています。もし、この本を知らない先生方で興味がある方は、ぜひ読んでみていただけたらと思います。



<https://motion-medical.co.jp/>

事務局だより

令和7年7月25日～令和7年9月29日現在受理分

学術誌

鹿児島県医師会報 第890号
理学療法ジャーナル 第59巻第8号
鹿児島県医師会報 第891号
理学療法ジャーナル 第59巻第9号
県薬会報 第191号

ニュース

秋田Vol. 217 広島No.82 和歌山No.105
兵庫Vol. 207 滋賀No.227 静岡No.210・211
山梨No.166 (WEBダウンロード)
北海道No.243・244 長野No.89・90
神奈川No.304

<会員動向> (7/15～9/15定期承認まで)

入会39件 県内異動19件 転入0件 転出0件
休会2件 休会継続5件 復会2件
退会5件 休会経過退会30件 未納退会20件

会員動向に関する詳細は非公開とします。

会員数 2512名
会員所属施設数 462施設

会長行動録

8月7日 業務執行理事会
8月9日 士会理事会・役員研修会
8月19日 鹿児島市保健所意見交換会 (POS)
8月27日 JPTA 斉藤会長意見交換
8月28日 かがしまJRAT協定式
9月5日 県地域職域学域連携推進委員会
9月8日 業務執行理事会
9月10日 士会理事会・連盟幹事会



編集後記

夏も終わり少しずつ暑さが和らいできていますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？
私は8月の大雨で初めて断水を経験し、普段当たり前のようにあるものがなくなることの大変さ実感しました。今年も残り数ヶ月となりましたが、皆様も【日々の当たり前】を改めて大切にしながら過ごされてみるのもいかがでしょうか。

広報誌に関してご意見等ございましたら、広報部まで連絡をお願いいたします。

rihabiri@gyokusyukai.com

広報部 本村 楓